

# 子供たちに絵本を

## 編集者ら、全国に呼びかけ

東日本大震災で被災した子供たちの心を癒やそうと、全国から絵本を集め活動が盛岡市で始まった。代表者の絵本編集者、末盛千枝子さん(70)は「世界の被災地や戦災地で絵本が子供の心を癒やした実例がある。被災地に絵本を送つてほしい」と呼びかけている。

絵本集めを始めたのは「3・11絵本プロジェクト」といって、盛岡市中央公民館の協力を得て、同

館に本を集積し、各避難所に絵本を届ける。メンバーフew人ほどの人脈を頼つた。代表者の絵本編集者、末盛千枝子さん(70)は「世界の被災地や戦災地で絵本が子供の心を癒やした実例がある。被災地に絵本を送つてほしい」と呼びかけている。

大きな災害があった際、小さな子供は情報をよく理解できないまま大

きなショックを受ける。大きな灾害があつた際、小さな子供は情報をよく理解できないまま大

福島市内の高校生ボランティアから絵本の貸し出しを受ける子どもたち(21日、福島市あづま総合運動公園)



福島市内の高校生ボランティアから絵本の貸し出しを受ける子どもたち(21日、福島市あづま総合運動公園)

「中東などで戦火にさらされた子供たちが大人の膝に乗せてもらい、絵本を読んでもらうときだけ、穏やかな気持ちを取り戻せた」という話もある」と末盛さん。「被災した親は生活のことで精いっぱい。そんな環境だからこそ子供たちに絵本が必要」と話している。絵本のほか、集積作業や配達、読み聞かせをするボランティアも募集している。絵本の送り先、連絡先は〒020-10013 岩手県盛岡市愛宕町14-1 盛岡市中央公民館「絵本プロジェクト」(電)019-654-5366)。